



令和8年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和8年7月17日(金)14時00分から
場所	九十九地区コミュニティセンター 講堂
テーマ	・俵ヶ浦半島観光開発について ・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について
出席者	地域参加者9名、市長及び関係部局長等5名 合計14名
オブザーバー	市議会議員1名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・俵ヶ浦半島観光開発について

・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

地域参加者

- 野崎町では、市の委託により、花の森公園の草刈りと旧野崎中学校の草刈りを行っている。花の森公園は、広大な見晴らしのよい園地に桜をはじめとした四季の花々や、木が4万本植えられている公園で、春の桜の時期はたくさんの桜が咲き誇り、本当にきれいで観光のお客さんもたくさん見られる。また、公園から見える九十九島の景観と合わせてみると、非常に壮大なパノラマといった景観である。他にも梅やアジサイ、水仙、ハマユウ、彼岸花などが咲く。ただ、現状を見ると、桜以外の時期の来客者数というのは非常に少ない状況である。水仙や彼岸花も綺麗にたくさん咲くが、場所的に散策路の一番上の方まで行かないと見れない。その散策路も、草刈りしたあとは綺麗だが、実際のところ草に覆われているというのが実情でなかなか行きづらい。
今年も花の森公園の草刈りを、4月と6月に行ったが、桜の大きい枝が4、5ヶ所落ちていた。1人では動かすこともできないぐらい大きな枝だったため、チェーンソーで小さくして処分したとい

う状況。その次の週にも、イノシシとかがあせくりかえした跡の片付けをしたり、散策路にはみ出てきているところの枝や倒木の処理を行った。非常に大変な作業である。藤棚のところも雑草が生い茂っている。菖蒲園に関しても立派な遊歩道ができているが、そこを通っても水もないし、菖蒲もない。非常にもったいない。市道から園の方へ入っていく小道があるが、ちょうど市道の擁壁と重なった状態で、ここも雑草が生い茂っている。こちら辺は、今後関係部署と話をし、どうにかしていきたいなと思っているところである。

それと、先週末から今週の月曜日にかけて、桜の大きな枝が折れて市道の方に横たわっていた。これは、公園緑地課に連絡をして伐採してもらっているが、近年あちこちで倒木による被害があっている。特に、桜の木など老木化しており、全体的に木が弱っている。一度、公園内の樹木の状況だとかを見ていただいて、手を入れる必要があれば、手を入れていただきたいと思う。

未来に向けた提案として。観光公園と花の森公園



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・俵ヶ浦半島観光開発について
・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

地域参加者

の間というのは、バス通りと裏の市道を通るルートがある。バス通りの方はバスも通るし、庵浦町の道路迂回路で通行量も多くなっており、そちらを通ると、観光公園から花の森公園まで10分程度かかる。市道の方を通るとたぶん5分くらいで行けると思う。その市道の部分を整備していただいて、花の森公園で楽しく花を愛でたあと、子供たちを遊ばせて、森林浴をしながら観光公園へ行って、九十九島の絶景を見てもらうと、そういう素晴らしいコースができればいいなと考えている。

それともうひとつ、花の森公園から観光公園、それと展海峰へ続く3つの大きな公園をつなぐトレッキングコースというのもおもしろいんじゃないかなと思う。きれいな絶景と自然と森林のパノラマ、そこら辺をしっかりと出していけたらいいなと思う。

- 俵ヶ浦町は、白浜海水浴場とキャンプ場を運営中である。今年で63年目になり、いまだ死亡事故ゼロである。令和2年の頃は、入場者が大体1万

人ぐらい来ていた。3年4年5年とだんだんと尻細んで、令和5年で6,620人。それで今現在、老朽化して、鉄骨が錆びてきている。昨日も地元の鉄工所の方に軒先の方とかしていただいて、大分綺麗になった。私たちが閉鎖したあとは公園になるので、いろんな方が来られる。特に、外国人、ネイビーの人たちが来て、海遊びされたあと集まって、ハンモックをされたりいろいろされる。もう古いので危ないくらいに揺れる。また軒先の方にぶら下がったり、逆上がりをされたりする。それで軒先の左右が曲がってしまい、テント張ってもだんだん下がってくる。今現在、工事を公園緑地課にしている。

それと併せてキャンプ場の方の温水シャワー。そちらの方も、女性男性、目隠しでしていただいたのはありがたいのだが、陰気臭いというか、電気をつけても暗いような状態になる。特に女性側。もう40年以上経っているのでそんな感じである。お客様に来ていただくためにはやっぱり、よかったですねと言われるくらいにしたい。



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・俵ヶ浦半島観光開発について

・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

地域参加者

そこで何か1つ、目玉をお願いしたい。一番困っているのはトイレ。海水浴場の方のトイレが今、水洗じゃなくて簡易トイレになっており、レバーを引いて流すというタイプのもの。強く引かないと流れないため、土日にトラブルも多く、従業員や掃除に来られる方もだいぶ苦労されている。俵ヶ浦半島、海水浴場とキャンプ場が古くなっているので、それをもう少し整備をしてもらいたい。この半島自体を活性化するためには、やっぱり来てもらうのが一番いいと思う。

もう1つは、丸出山までのルートの整備。野崎町公民館長が言われたように、トレールで陸上自衛隊の方を借りてとか、丸出山まで。市有地だが、そこを調べていただいて。海を見るだけではなく、丸出山に登って九十九島でも見て帰ろうかという感じで来てもらって。そうしてもらえれば一番、こちらの方もありがたいし、また俵ヶ浦半島に来たいなという感じになるのではないかなと思っている。なので、トイレを目玉にして作っていただければ、一番いいかと思う。

- 下船越町名切町内会では、展海峰の草刈りを年4回と、年間120回の清掃活動をしている。一番展海峰が近い町内会ということで、以前から、市から委託を受けてやっている。近頃もそうだが、ちょっと以前、中国からのクルーズ船が来た時に、バスが40台50台連なって来ていた。市道から取り付け道路が展海峰まで300mくらい上っている。そこが、ずっと今木が生い茂って、観光バスも背丈が伸びて大型化している。それで、自分たちが草刈りとか、清掃しよるときに、枝が道路に差し掛かって、観光バスがもうセンターラインの真ん中を通らないと当たるものだから、真ん中を通っていく。そうすると、乗用車もバスももちろんすれ違うのが困難になるし、バス同士がすれ違いきれないので、お互いがバックして交わす時もある。これだけ枝木が大きければ、予算的にもかなりかかると思うが、これも安全上のことなので、もしそういった話が出た場合には、できれば早急な対策をできればお願いしたい。



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ：・俵ヶ浦半島観光開発について
・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

企画部長

- 平成28年度から令和2年度まで、政策経営課にいたが、令和3年度に、半島全体の開発計画を作って欲しいという要望をいただいている。それを受けて令和6年度に、俵ヶ浦半島全体の自然観光公園化に向けた民間事業者の提案募集を開始した。提案募集をした結果、最優秀提案者が決まったのが令和7年11月ということになっている。
- 本日、たくさんのご意見をいただいたが、この最優秀提案者が決まった後、今年の2月、8町内会の会長さん、それから役員の皆さんに対して、その提案の内容の説明をしている。まさしく今年度から、最優秀提案者であるNEWLOCALと一緒にこの計画を深掘りしていく段階にある。今年の6月29日に、俵ヶ浦半島4町内の会長はじめ役員の皆様にお話をさせていただいたと思うが、半島マスタープランを今年度策定するが、すごく時間がかかるものもあれば短期的にできるものもあるので、できるところからスタートしていきましようという話をしていた。今、4町内会の会長

さんにヒアリングさせていただいている。先ほどおっしゃられたようなキャンプ場、海水浴場をどうするのかとか、あと展海峰それから、観光公園、花の森公園をつなぐ動線を、いかに使いやすくして、多くの方が来訪できるような形をとっていくのかというご意見も含めて、その計画の中でどういうふうに整備していくのか、問題を解決していくのかというところは、半島マスタープランの中に盛り込める部分はしっかりと盛り込んでいきたいと思う。

今が、いわゆる初期調査の段階ということになるので、町内会長さんであるとか、チーム俵の皆さん、それから有識者の方々に直接会ってヒアリングをするというのが今の時期になる。そして9月ぐらいには、半島の住民の皆さん全体に対するアンケート調査を行いたいと考えている。これは紙とかWebとかネットとかでも、回答できるが、1000人近くの対象者の方がいらっしゃるの、皆さんのご意見を聞き、その結果を11月ぐらいに分析をしていくという流れになっている。その



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ：・俵ヶ浦半島観光開発について
・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

企画部長

分析結果を踏まえて、来年1月ぐらいに半島マスタープランを策定し、年度末には、最終的な報告をさせていただきたい。これは地元の皆さんに対しても報告させていただきたいと思っている。先ほど具体的にたくさんのご意見をいただいた。道路の問題で野崎町公民館長の方からは、市道の整備であるとか、トレイルコースの整備の話。俵ヶ浦町公民館長の方からは海水浴場或いはキャンプ場の、トイレとか施設が古くなっているという問題。副会長の方からはバス、取りつけ道路のところで、木が生い茂っているところ。今日お伺いした話の中で、もう直ちにやっておかなければいけないようなことも、なかには含まれてたかと思う。これはしっかりと担当部局の方に伝えて、対応を図ってもらいたいなと思っているので、そこはお伝えをしておきたい。



都市整備部副部長

- 野崎町公民館長の方から、花の森公園から観光公園にかけてのウォーキングルートという話があった。先ほど企画部長がお答えしたとおり、全体の半島開発の計画を踏まえながら、全体のルートというのはきちんと検討していきたい。一方で、現状、花の森公園と観光公園をつなぐ県道と佐世保市道があるが、周辺が森に囲まれてるところもあり、落ち葉や、イノシシの掘り返しにより土が流されて、側溝が詰まっている状況もあったので、将来的にはきちっと整備していくとしながらも、今現状、支障をきたしているところはすぐにでも対応させていただきたい。
- 俵ヶ浦町公民館長の方から、海の家といいますか鉄骨の軒先に、外国の方がぶら下がってみたりとかいうお話をされた。そのような利用があるとは私もちょっと把握をしていなかった。実際のところ先日、公園緑地課の職員が現地をお伺いして、立ち会いをした時には、腐食の状況というところは確認をさせていただいた。海の家は設置されてから40年ほど経ち、環境としても海風に



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・俵ヶ浦半島観光開発について
・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

都市整備部副部長

さらされて過酷な状況であるので、鉄骨も錆びれている。特に継手部分の腐食が顕著であり、全体的に軒先の方に集中している。さらには、外国人の方が、軒先にぶら下がるなど軒先に負荷がかかるような使い方をされているとお聞きした。半島開発をにらみながら考えていくところではあるが、利用者の安全にも直接繋がる場所であるので、まずは緊急で補修をすると同時に、利用形態を外国人にもわかるような看板等を設置し啓発を行いたい。



市長

- これまで観光公園も建設ができ、またその他の場所についても利用をいただき、また、特に白浜海水浴場などは、今俵ヶ浦町公民館長がおっしゃったとおり、運営委員会の皆様方に本当に長年お世話になりながら、運用ができていくということについて改めてお礼を申し上げたい。先日、新たなパートナー事業者として、NEWLOCALとの関係ができたので、今後は行政のみならず、民間の皆様方の新しい発想というものを活用しながら、これから進めさせていただきたい。またNEWLOCALからも、皆様方のもとに訪れていろいろなご意見やご提案などもお聞きをするかと思うが、ぜひご協力をよろしくお願い申し上げたい。

この半島内には、観光公園はもとより、展海峰や、花の森公園、トレイルコース、そして白浜海水浴場、また3つの学校跡地など様々なものがある。もっと言えば、旧海軍の施設などもあるので、そうしたものを最大限に生かしながら、これからのこの場所をより良くしていく。ひいては、多くの皆様方にこの場所を親しんでいただく、楽しんでいただくような拠点にしたいということで



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ：・俵ヶ浦半島観光開発について

・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

市長

進めている。今年は年度内に、半島マスタープランもできるので、そうしたことをしっかりとまた皆様方にご理解をいただきながら、できることからぜひ早急に、事業というものを進めていきたいというふうに思っているので、よろしくお願いを申し上げたい。

なお、トイレの改修や或いは県道のいわゆる草木の繁茂など、いわゆる緊急を要する部分については、すぐに持ち帰り、また担当部署等を検討しながら、どのように対応できるかということを考えていきたい。

地域参加者

- 船越町の石岳長寿会で、年に52回、石岳展望台の掃除をしている。森きららの方から上がっていった広い駐車場があり、そこから展望台まで歩くのだが、高齢者の方だったら10分ぐらいかかる。駐車場の方に行くと、トイレは森きららのトイレを使ってくださいと書いてあるが、あそこまで行ってから戻るということはまずない。そこで何とかトイレができないかなと。朝は7時半から掃除をしているが、もうその頃には、観光客が見えていて、結構人気があるように感じる。そこにトイレがないのが非常に残念だなと思っているので、どうか検討をお願いしたい。



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・俵ヶ浦半島観光開発について
・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

都市整備部副部長

- 石岳展望台の維持管理については、石岳長寿会の皆様に維持管理を行っていただいている。非常に、綺麗に管理をしていただいているところで、改めてお礼を申し上げる。石岳展望台周辺のトイレについては、現在、森きららの駐車場の横にトイレがあり、どうしても場合はそちらをご利用いただいている。森きららから、約700mぐらい登ったところに石岳展望台の駐車場があり、そして駐車場から約300mほど上ったところに展望台がある。その駐車場から150mぐらい下に、赤崎第1配水池という水道施設があるが、配水池から自然流下で、皆様のご家庭に給水しており、新たなトイレの設置となると駐車場が配水池より上に位置することから、ポンプをつけて管路を引いてくみ上げて送るといった、かなり大規模な施設になる。そういった初期費用が発生すること、また、公共施設の適正管理、総量抑制を進めており、施設をできるだけ集約していきたいという思いもある。そのため新たにトイレをというところは非常に厳しい。森きららの駐車場横にトイレが

あることをご存じない方もいらっしゃると思うので、まずは石岳展望台駐車場のところに、トイレがある場所を図面をつけて、こちらにありますという周知をするというのが1つ。そして、森きららの駐車場から上がる位置に、「この上にはトイレはありません」との案内板を設け2つ周知をさせていただきたい。それと併せて、佐世保市のホームページに石岳展望台園地の紹介ページがあるので、「展望台にはトイレがございませんのでご来場前にお済ませください」などの文言を追記し、ご来訪の皆様への周知を一層図って参るのでどうぞご理解をいただきたい。



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ：・俵ヶ浦半島観光開発について
・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

地域参加者

- 俵ヶ浦半島観光公園を、そちらの方で作ったときに、森きららを移設しようという話が最初に、非常に盛り上がり、あの森きららが動くんじゃないかなというふうな話で進んできたと思う。今、また状況が変わり、今のところということになっているが、森きららが移設するという時くらいはちょうど学校の再編の問題もあり、移設した後、あの場所を町民としてどのように使ったらいいかなというようなことで大変議論も盛り上がった。現在はまたそのままの状態ということとなると、これから老朽化が進む中、観光客を増やすために、今後の森きららというものをどのように運営されていかれるかをお聞きしたい。



企画部長

- 動物園や森きららの件に関しては、先ほど申し上げた事業者からの提案を受けた際に、この半島全体をコンセプトに沿って、しっかりと魅力を作っていくというストーリーを作っていくわけだが、その際に動物園はあったほうがいいのか、それともないほうがいいのかという聞き方をしていた。今回、NEWLOCALの提案は、半島全体を1つのコンセプトで作っていく中には、動物園はちょっとなじまないとうふうに整理をされ、選ばれたと理解している。従って、今回は、観光公園の方に持っていくという案もあったが、それは今回はなしということで、現在、現地で建て替えて続けていくのか、それとも他に方法がないのかというのを、鋭意検討を進めている。ここは全く現段階では白紙ということになっている。内部ではもちろんいろんな調査、検討をしているが、お伝えできる内容としては今現在まだないということである。



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ：・俵ヶ浦半島観光開発について
・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

企画部長

跡地のこと、関心があられるということであったが、今後、動物園のあり方、場所についてもそうだし、どのような形で整備するのかというのが分かった中で、ある程度こちらで案を作った中で、また地域の皆さんともお話をさせていただきながら、近隣の状況であるとか、そういったところも含めて、整理をしていきたいというふうに考えている。こちらに関しても今しばらく時間をいただきながら検討させていただきたい。



市長

- 森きららについては、今企画部長が話したとおり、この観光公園には移転をしないということで、一定の結論を得たところである。しかしながら、この森きららが今の現状でいいというふうには決して思っていないので、これをどのように、これからまた充実をさせるかという点については、現地の改良や或いはまだ移転も含めて考えていきたい。もっと言えば、森きららがあつて海きららがある。このようにいわゆる動植物園と水族館が近い場所にあるという地域はなかなかない。やっぱり利便性の良さというかアドバンテージというものをどうやってこれからも利活用していくのかということにおいては、今度は海きららもう大分古くなってきているので、どのようにこれから改修をしていったらいいのかということと併せて考える必要がある。企画部を中心として、また経済部も含めてこれからしっかりと検討を進めて参りたい。またその経過については、地元の皆様方、また、もちろん市議会の皆様方とも共有をしながら、必要なものを進めていきたい。



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ：・俵ヶ浦半島観光開発について
・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

地域参加者

- 一般県道俵ヶ浦日野線の改良工事については、昨年度、完成時期が当初から3年遅れの令和14年になるということで、現時点での進捗状況について簡単にお聞かせ願いたい。

土木政策課係長

- 会長から話があったとおり、俵ヶ浦日野線については令和6年7月に再評価があり、令和11年から14年度まで工期が延びたというところで、地元の方からも早期着工、早期完成ということで、令和7年3月に一緒に要望活動をさせていただいた。その中で、今の進捗を説明すると、再評価の中では、令和8年度において、最後の詳細設計が完了する予定で、用地交渉と一部工事を進めていくというスケジュールになっている。今年度については、トンネルの詳細設計や、その周辺の水の流れや地質を調査する業務委託が発注予定で

あり、それと同時に用地交渉も進められている。工事については、令和8年度から、俵ヶ浦側のダックという商店の先の旧県道との交差点付近が今回事業の起点となるが、用地交渉がきちんと進めば、そこから工事に入っていきたいということを県北振興局からは聞いており、現時点では、再評価のスケジュールどおりに進んでいる。また、今年度、県知事や県北振興局長が新しく代わられたということもあり、8月に地元から早期完成について要望したいということも聞いているので、これ以上工期が延伸しないように、地元の方々と一丸となって、国や県に働きかけていきたい。



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・俵ヶ浦半島観光開発について

・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

市長

- 俵ヶ浦日野線の問題については、これはもうご承知の通りに私が県議会議員の時代に、柴山市議、或いは地域の皆様方の本当にご協力をいただきながら、進めてきた事業であり、そういう意味から1日も早くこの完成を望む1人でもある。当初は、令和11年の完成ということで我々も望んでいたわけだが、これが後ろ倒しになったことは大変残念であるが、しかしながら令和14年、この完成というものを必ず達成をしてもらうということを我々も一丸となって、これから要望していきたい。先ほどお話のとおり、また地域の皆様方にもいろいろとご要望等々をいただきながら、一緒になって、県にも働きかけを行うと同時に、必ずこの年度内計画どおりの実現というものを図っていただくように、これからも進めさせていただきたい。



地域参加者

- 今回、県道のがけ崩れの件では、いろいろ皆さんにご心配、ご努力願ひましてありがとうございます。住民も少ないし、あまり影響ないかと思っていたら、かなり影響が出まして、迂回路はものすごく遠くなるし、これがまた離合場所も少なく狭い、道もかなり痛んでいるということで、ものすごく不便をしている。そうした中で、デマンドタクシーの、災害の21条なりで、早急にやっていただいたということで本当にありがたく思っている。お礼だけ申し上げておきたい。
- 今回のデマンドタクシーの件で、早急な対応をしていただき、ありがとうございます。私が8年目になるが、今回この2、3年において、地域のために動くことができたということ大変うれしく思っている。これからもまたご協力のほどよろしくお願いしたい。



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・俵ヶ浦半島観光開発について
・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

地域参加者

(資料に沿って説明。以下、概要)

参照:資料「俵ヶ浦半島バス減便問題解決への取り組みについて」

○バス問題に取り組んだ始まりは、去年の4月に俵ヶ浦町の住民から生活支援コーディネーターに相談があったこと。その内容は、以前は6往復あったのが、今は帰りが13時台と18時台の2台になった。これは令和6年から実施されたもので、1年を経過して、生活に大変困って病院に行っても、帰りのバスがなくて困っているという相談。

○自治協に相談に行き、問題解決のための組織づくりとして、地域住民主体の組織を考え、会長副会長がメンバーに、担当している町民を各1名ずつ、生活支援コーディネーター、自治協の事務局2名で小回りの利く組織として立ち上げた。

○第1回目の会議を、地域の困りごとを把握するためのアンケート調査を実施。調査期間が去年の6月から7月、配布世帯が352世帯、回収世帯数は246世帯で70%の回収率。

○第2回の会議をし、バスの代替として、この地区ではデマンドタクシーが一番いいだろうという結果になり、デマンドタクシーを運用する具体的な課題を協議する。

○第6回、7回、8回の委員会をして、デマンドタクシーの愛称も公募しようということになった。

○第9回、10回、11回の会議で、バス停の協議をして、観光地も周れるようなバス停を考えようということになり、停留所それから運行区間や運行時間について、地域交通課の意見を聞きながら停留所名も決定をする。デマンドタクシーの愛称も「なのはな号」に決定。

●現在は、タクシー会社が元町タクシーと決まり、運用時間も決まり、停留所も決まり、順序よく決まっている。これは地域交通課の次長様、ご担当者様はじめ、何回も自治協まで出向いて、協議に参加し情報を提供していただいて、現在そこまで決めることができている。これからまだいろいろな



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ：・俵ヶ浦半島観光開発について
・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

地域参加者

手続きがあるが、デマンドタクシー運用をできれば、10月ぐらいにはという皆さんの希望がある。それに向かって、これまで以上のご尽力をお願いしたい。

地域未来共創部長

- 今発表があった、俵ヶ浦半島バス問題委員会会長様中心に、路線バスの減便という背景をとらえて、地域でいかに交通手段を確保していくかというなかなか難しい社会課題に対してチャレンジをされて、ここまで検討されたということで、一緒に私も汗をかきながらここまで検討させていただいたので、改めて感慨深くまた力強く発表を聞かせていただいた。今日、部からは私1人だが、職員も連れて聞かせたかったというのが正直な話。私の方からこの感動を伝えて、また今後一緒に進めていければと思っているので、今後ともよろしくお願いいたします。

そういう中で1つトピックス。先般6月25日の大雨で、庵浦の方で県道の崩落があった。地区、周辺の方、特に路線バスについては観光公園から野崎の方に迂回で運行はしているが、庵浦周辺の住民の方々にはご不便をおかけしている。その後、そういう状況を踏まえて、一刻も早く何とか対応をとということで我々も検討してきた。いろいろ法の壁であるとか、時間的なもの等も考慮する中で、いろいろ選択肢を設けながら検討する中で、1つたどり着いたのが、道路運送法の21条ということ。これは、災害における例外規定で、それを適用することによって、皆様方が検討されているデマンドタクシーについて、手続きをある程度簡略化することによって対応できるということ为国にも確認をさせていただいた。これについては今週月曜日に、地元に入ってご説明もさせていただいた。交通事業者、西肥バスとの協議が必要であったので、その協議も含めて、いわゆる本格的にデマンドを運行される想定のエリアについては、一定ほぼ了解を得ているのでその方向で



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ：・俵ヶ浦半島観光開発について
・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

地域未来共創部長

進めさせていただきたい。今お話で10月という目途もあったが、これを使うことによって8月頭にはもう走らせることができるかと思っている。また詳細、その利便性も含めて時刻等、来週また職員が入らせてもらうので、そこは細かく意見交換しながら詰めさせていただいて、できるだけ早く移動の確保に努めて参りたいと思っているので、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願いしたい。



市長

- 市長に就任して丸3年を超えたが、やっぱり一番悩んでいる課題の1つがこの地域交通である。ご存じのとおり今人口が減っている。人口が減ることによって公共交通を使う人が少なくなっていく。またそれに輪をかけて深刻なのが、それを運転する運転手さんがもう圧倒的に少なくなっているということで本当に今、厳しい状況に立たされている。そうした中で今、現在佐々町と一緒に、佐世保市佐々町地域公共交通計画というものを作って、鋭意進めさせていただいている。

実は一昨日から、全く公共交通がなかった黒島地区において、昨年1年実証実験を行って、公共ライドシェアの本格的な運行をスタートさせていただいた。今年度は世知原地区で実証実験を行うこととしているが、こうしたものもぜひ利用しながら、空白地を埋めることに利用していきたいというふうに思っている。



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

- テーマ：・俵ヶ浦半島観光開発について
・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

市長

そういう事情を踏まえて、この九十九地区においては、会長を中心として、まさに自治協の中に、このような専門的な部署を設けられて、これまで本当に数多くお集まりをいただきながら、協議をいただいていることに本当に感謝を申し上げたい。地域の皆様方がこのように主体的になって動いていただくことが、まさに我々にとっては頼もしいことであると同時に、ある意味、これからの地域の運営を考えれば、本当に模範となるようなスタイルではなかったかなというふうに思っている。改めて敬意と感謝を申し上げたい。これまでたくさんのご協議をいただき、そしてまた本当に具体的なお提案をいただいた。なのはな号というようなすばらしい名前や、或いはデマンドタクシーを利用するというような方法もいただいたので、先ほど地域未来共創部長が申したとおり、1日も早く、この事業が実現をできるように、我々も取り組みを進めて参りたい。



令和8年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

- テーマ:
- ・俵ヶ浦半島観光開発について
 - ・俵ヶ浦半島におけるバス減便問題について

